

営農支援活動で利用できる

「営農計画策定支援システム Z-BFM」

今日の営農支援活動では、具体的な営農計画案を提示し、農業経営者と相談しながら、より良い経営改善策を見出していくことが重要となっています。そこで、実際の営農支援活動での利用ニーズに応えるために、JA 全農営農販売企画部と連携しながら、営農支援活動で利用できるツール「営農計画策定支援システム Z-BFM」を開発しました。

☆ 技術の概要

1. Z-BFM は、Excel のアドインであり、「経営概況」、「営農条件」、「経営指標」の各シートで設定した内容から、農業所得を最大化する解を線形計画法で計算し、最適な営農計画案として表示します。
2. Z-BFM は、営農支援活動での利用を想定し、①作物や機械・施設のデータリスト利用による入力の手間削減、②前提条件を変えた最適計画案の比較表示、③労働配分や土地利用のグラフ表示、④提案書としての印刷、等の機能があります。
3. 計画案の策定には、経営指標（作物別の単位当たり収支や旬別労働時間等）が必要ですが、経営指標作成支援プログラムを用いることで、実態に即した経営指標の作成と修正が簡易にできます。また、追加機能である経営指標データベースを利用して、実績のない新規作物導入などの経営改善案も作成できます。
4. 試算計画法の機能を用いて、簡易に営農実態に即したモデルを再現することもできます。実際の利用では、試算計画法で現状を再現したモデルを作成した上で、線形計画法で改善案を検討しながら実行可能性のある計画案を絞り込み、その結果を提案書として作成するという手順が有効です。

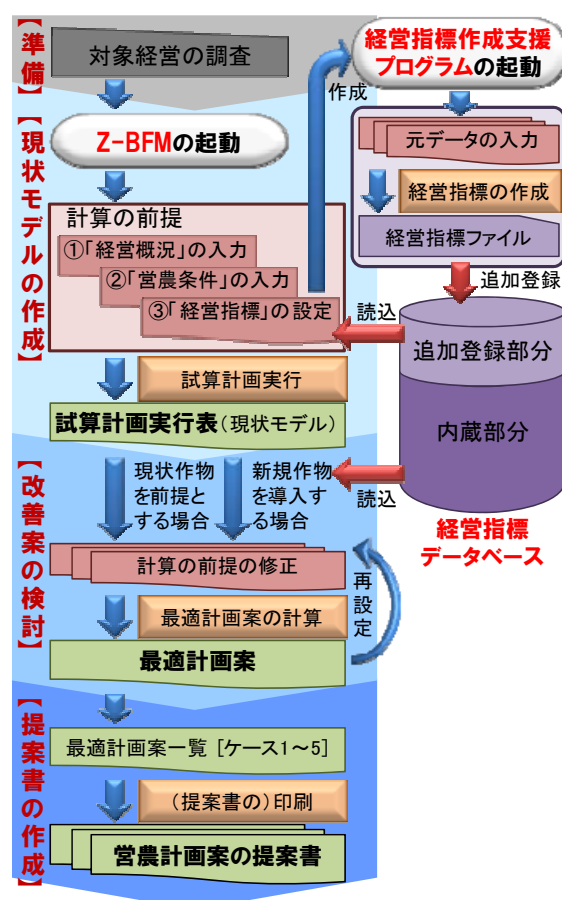


図 Z-BFM を活用した経営支援活動のフロー

☆ 活用面での留意点

1. 本プログラムは、中央農業総合研究センターの「農研機構 | 経営管理システム」のウェブページ (<http://fmrp.dc.affrc.go.jp/>) からダウンロードして利用できます。
2. 詳細は、中央農業総合研究センター農業経営研究領域 (fmnarc@affrc.go.jp) にお問い合わせ下さい。

(中央農業総合研究センター 主任研究員 松本 浩一)